

1月26日 第3回ごみと水を考える集い開催

環境省藤前干潟稲永ビジターセンター会議室に
官・民合わせて41団体78名参加
ごみの生まれない社会めざす7項目アピール採択

1月26日(日)、名古屋市港区野跡の環境省藤前干潟稲永ビジターセンターで、第3回土岐川・庄内川など藤前干潟形成流域のごみと水を考える集い(略称:ごみと水を考える集いor「集い」)が開催されました。「集い」には、愛知県、岐阜県、三重県の市民団体等34団体と行政機関7部署の78名が参加しました。忙しい中、河村たかし名古屋市長、向井克之河川課長(大村知事のメッセージ代読)、池田善一環境省中部地方環境事務所長、高橋伸輔国交省庄内川河川事務所長が来臨いただき、激励の挨拶をいただきました。

「集い」では、基調報告に「庄内川源流域森の健康診断の9年間の取組」が報告され、講演は、庄内川流域の草木からバイオ肥料が生成され還元されている(有)東海バイオの取組がありました。その後、4題の特別報告に続き、参加全市民団体の活動報告があり、愛知県からも海岸漂着ごみ対策の報告がありました。この後、「集い」の総意で、「第3回ごみと水を考える集いからのアピール」(近日、流域の自治体等に発送)を採択しました。「集い」のまとめをした中部大学の中村さんの発言に大きな拍手が寄せられました。根を詰めた発表会の後は、恒例の「とん汁交流会」今回のシェフは藤前干潟を守る会理事の佐野すま子さん・坂野光子さん、前日から準備していただいた「とん汁」とおにぎり、漬物のおもてなしに、参加者の気持ちも一気に解放され、なごやかな交流会となりました。なお、当日の発表資料で、公開確認が取れている資料が次のリンクでアップロードされています。



↑78名が集った「ごみと水を考える集い」
忙しい中駆けつけていただいた来賓の皆さん



河村名古屋市長



向井課長



池田所長



高橋所長

<挨拶>

呼びかけ団体代表

土岐川・庄内川源流森の健康診断



藤前干潟クリーン大作戦実行委員会
坂野一博実行委員長



森の健康診断事務局長村上誠治さん
9年間、土岐川・庄内川源流域で調査した森林の現状と、流域の水の循環と人の交流が大切なことなどを報告して頂きました。

<基調報告>

土岐川・庄内川の草木からバイオ肥料



(有)東海バイオ社長柘植森衛さん
庄内川・土岐川河川敷の草木から生成したバイオ肥料を流域に還元しつつ、循環型社会構築めざした、新たな挑戦も含めて講演頂きました。

<講演>

<特別報告4題>

庄内川のヨシ原

水辺の見える化



上野薫さん
庄内川河口のヨシ原の現状調査結果を報告して頂きました。



瀬川貴之さん
河川環境を「見える化」するITシステムを報告頂きました。

奈佐の浜の活動

ESDIについて



森一知さん
奈佐の浜プロジェクトの取組の現状について報告して頂きました。



古澤礼太さん
ESDとは何か、ESD中部拠点の取組を簡潔に報告して頂きました。

<活動発表>



<司会>
林万紀さん
過密なプログラムの中、臨機に対応した進行をして頂きました。



↑松坂吉昭さん(清須市河川環境美化協議会)の活動発表後、参加市民団体が次々と発表。愛知県のお二人が締め。



↑国立さん清水さんが愛知県の海岸漂着ごみの取組を報告して頂きました。



神郁子さん
(藤前干潟守る会)7項目アピールを提案しました。



中村仁哉さん
(中部大学ポリアティア・NPOセンター)が「集い」のまとめ。

<とん汁交流会>



←「集い」の締めは、とん汁交流会。

↓左がシェフ佐野すま子さん



<参加者にエコでステキなお土産が！>



司会の林さんから、色とりどりの手製のエコたわしに思わず手が!



(有)東海バイオさんから、バイオ肥料の現物が。即日なくなりました。

第3回ごみと水を考える集いよびかけ5団体

- ・土岐川・庄内川源流森の健康診断実行委員会
- ・藤前干潟クリーン大作戦実行委員会
- ・四日市ウミガメ保存会
- ・22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会
- ・NPO法人土岐川・庄内川サポートセンター

※本取組は、河川財団河川整備基金、あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の助成を受けて実施しました。

